

# 第10回 下水道における新たなPPP／PFI事業の促進に向けた 検討会資料

---

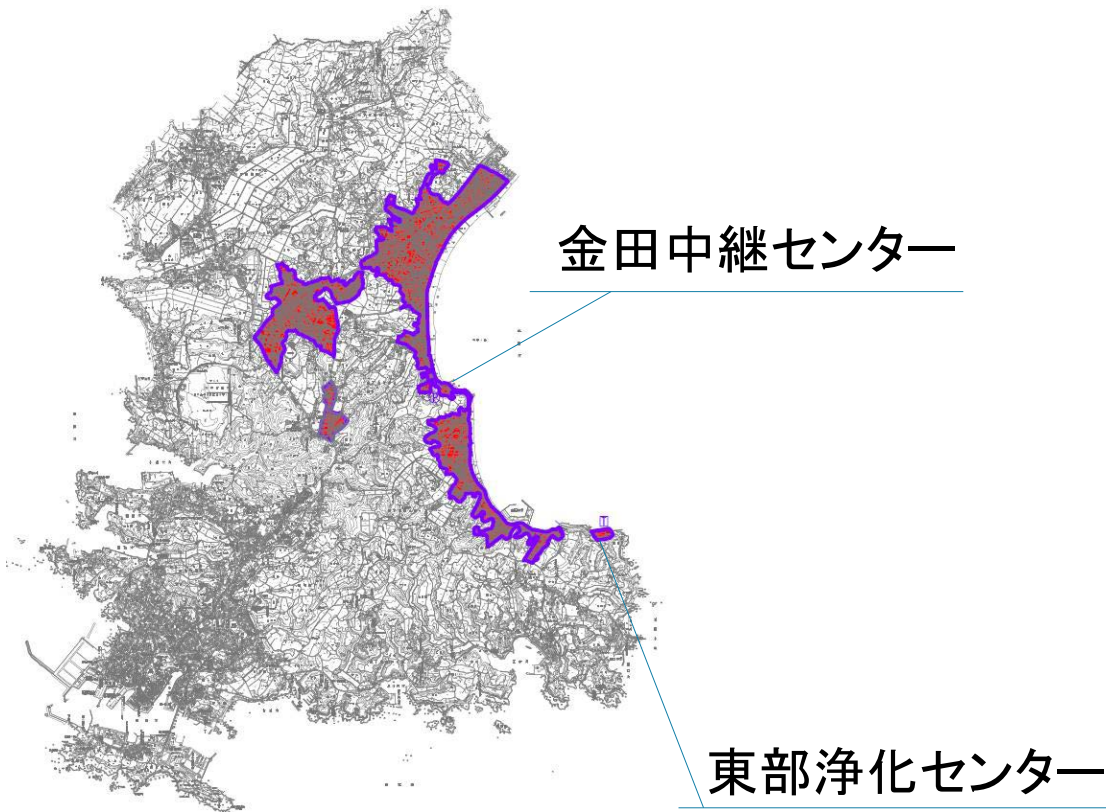
## 三浦市公共下水道事業におけるコンセッション推進 に向けた取り組み状況について

平成29年 6月 5日

# 1. 三浦市の下水道事業の概要(1)

## 三浦市

- 発足: 昭和30年1月1日  
(旧三崎町、南下浦町、初声村が合併)
- 面積: 31.44km<sup>2</sup>
- 人口: 44,860人(平成28年度末現在)
- 世帯数: 19,991世帯(同上)
- 産業の特徴: 農業、漁業、観光
- 土地利用状況: 市街化区域 約 729ha  
市街化調整区域 約2,415ha



# 1. 三浦市の下水道事業の概要(2)

- 公共下水道の概要

種類 排除方式	単独処理区 分流式
面積	東部処理区 事業計画区域面積235ha 全体計画面積370ha
処理場	東部浄化センター(約2.1ha) ※標準汚泥活性法による処理
ポンプ場	金田中継センター(470m <sup>2</sup> )
管きよ	管きよ延長58,165m(平成28年度末) 幹線管きよ延長8,496m 進捗率91.1%(平成28年度末)
供用開始	平成10年8月15日
処理区域内人口	15,223人(平成28年度末)
人口普及率	33.9%(平成28年度末)



東部浄化センター

# 1. 三浦市の下水道事業の概要(3)

---

- 処理場(東部浄化センター)は平成14年に第2系列が一部竣工し、現在は8,050m<sup>3</sup>/日の処理能力を有している。
- ポンプ場(東部浄化センター)は現在沈砂ピット2池、汚水ポンプ2台を備えており、5.9m<sup>3</sup>/分の揚水能力を有している。
- 幹線管きよは現在整備進捗率100%となっている。
- 平成27年度(決算ベース)において、維持管理費の100%、資本費の15.2%が下水道使用料によって賄われている。
- 供用開始以来初めての下水道使用料値上げ(全体で約16%)を平成27年10月に行った。
  - 理由1 厳しい財政事情(一般会計繰入金の抑制)
  - 理由2 今後の下水道施設の適正な維持管理

## 2. 三浦市の下水道が抱える問題(1)

---

### ● ①施設の老朽化

- 処理場やポンプ場の設備の老朽化が進み、長寿命化計画に基づく更新や長寿命化対策が求められている。
- 市が管理している管きよのうち、公共下水道供用開始以前に民間開発などによって建設された管きよ（最も古いものは昭和49年）を中心に老朽化が進行する。

### ● ②一般会計繰入金への依存

- 公共下水道事業特別会計の平成27年度決算では、歳入の60.4%が一般会計繰入金となっており、下水道使用料による経費回収率は35.8%と低い。

### ● ③使用料収入の減少

- 今後想定される人口減少により、下水道使用料収入の漸減が見込まれる。

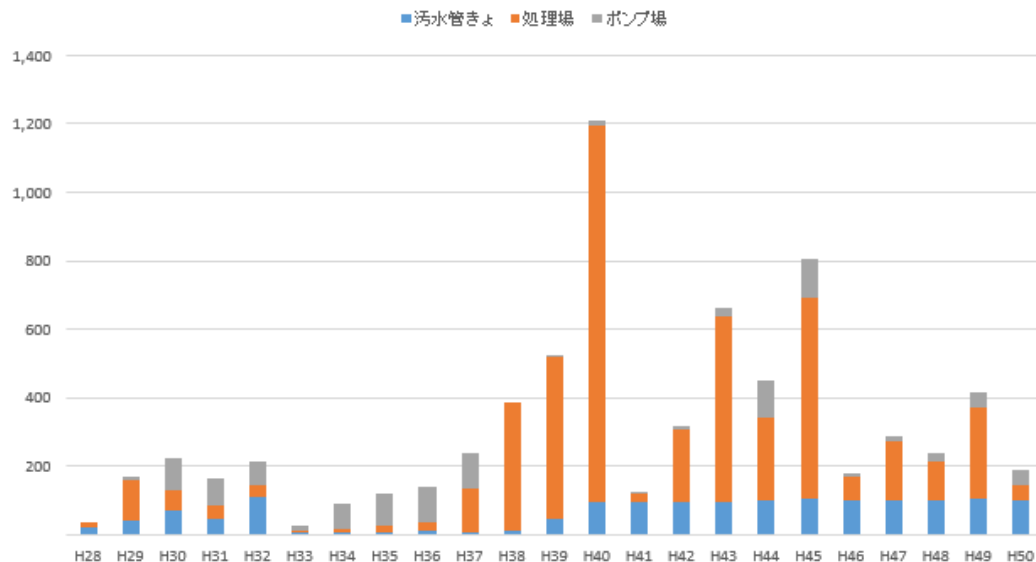
### ● ④人員不足

- 市の厳しい財政事情を背景に、下水道事業に従事する人員が不足することが想定される。

## 2. 三浦市の下水道が抱える問題(2)

### ①施設の老朽化

各施設の見積更新投資額(単位:百万円)

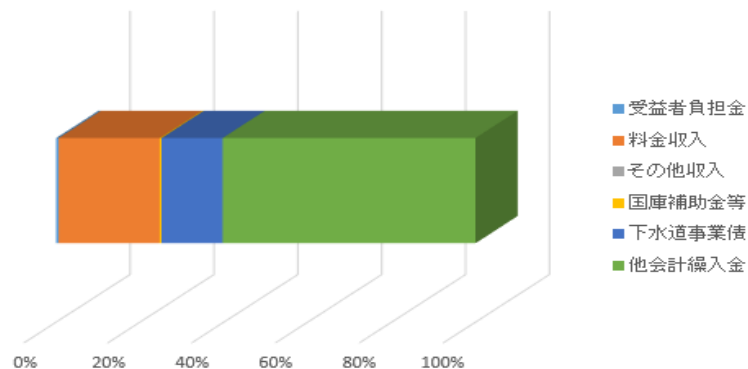


施設の老朽化に伴い、今後各施設について更新投資の実施が求められていくこととなるため、東部浄化センター及び金田中継センターの機械設備及び電気設備、並びに管きよについては、それぞれ残存耐用年数を見越して、平成50年度までの更新時期計画を策定している。

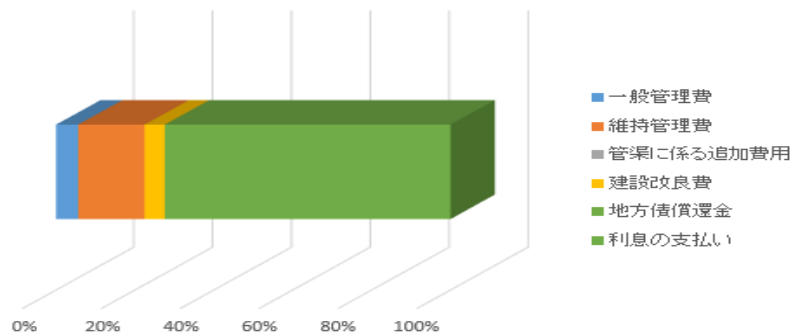
## 2. 三浦市の下水道が抱える問題(3)

### ②一般会計繰入金への依存

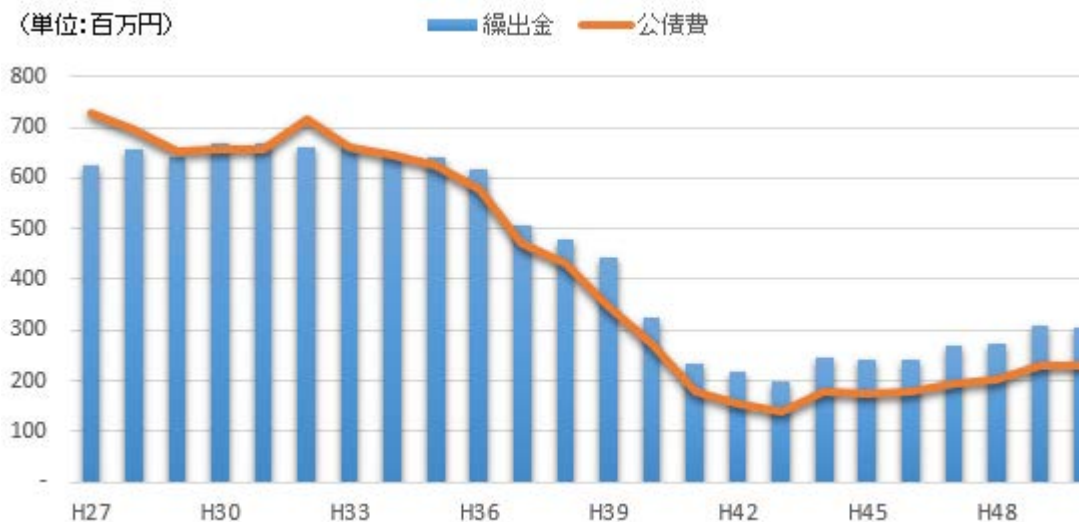
歳入内訳  
(27年度)



歳出内訳  
(27年度)



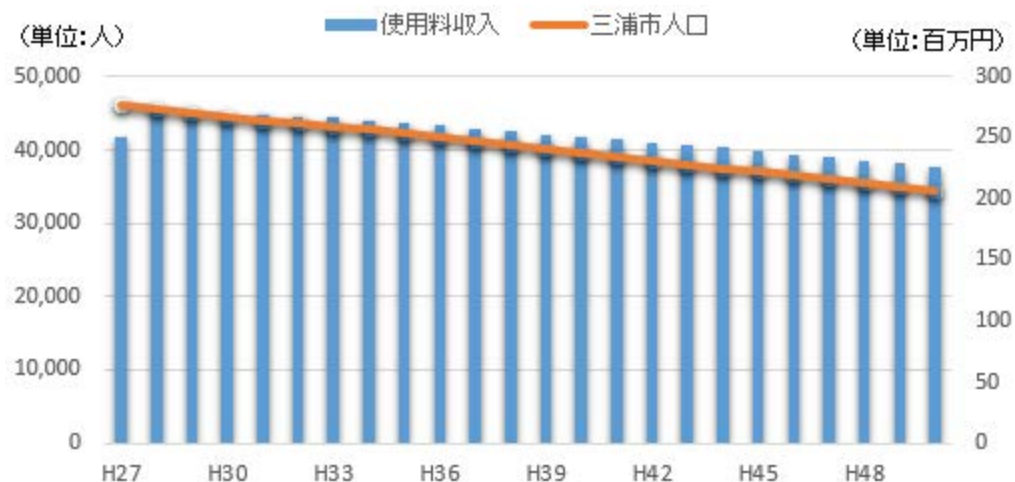
(参考)一般会計繰入金(繰出金)及び公債費の将来収支試算



## 2. 三浦市の下水道が抱える問題(4)

### ③使用料収入の減少

人口推計及び使用料収入の試算(参考)



「三浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(平成27年10月)では、将来にわたる人口推計が示されており、三浦市人口ビジョンによると、平成42年には38,598人、平成57年には31,197人まで減少する見込であり、平成27年と比較するとそれぞれ約16.4%減、約32.5%減と厳しい状況となっている。

これに伴い、下水道事業においては調定件数及び汚水量の低下を要因として下水道使用料収入は今後漸減していくことが想定される。

一方、三浦市では受益者負担の原則に基づき、平成27年度に料金改定を行い、下水道使用料を従来よりも16%値上げすることで、事業に必要な維持管理費等を賄い事業の継続性を保っている状況にある。



## 2. 三浦市の下水道が抱える問題(5)

### ④人員不足

### 試算

市における現行の業務内容	
業務分類	所要人員
手続関連業務	約1.6名
財政関連業務	約0.8名
庁内調整業務	約0.2名
維持管理業務	約2.5名
計画策定業務	約0.2名
その他業務	約1.7名
合計	7名



今後増加する業務内容	
業務分類	所要人員
改築更新業務 (管きょ+東部浄化センター+ 金田中継センター)	約2.3名

#### ※計算の根拠

平成26年度の三浦市下水道会計歳出を下水道課職員の7名で賅っていると仮定し、今後20年間で想定される建設改良費の年平均と比較して計算を行い上記の結果を得た

#### ※計算の根拠

平成28年度当初の職員数(7名)を、三浦市下水道課の業務時間(合計:15,097.3時間)の構成比で振り分けて計算を行い上記の結果を得た

平成28年度当初において、三浦市では左記に掲げる下水道関連業務について課長以下の7名で所掌している。

今後、現在は行われていない下水道施設の改築更新業務が新たに市側の業務として増加することが想定され、約2.3名分の人員が必要となるが、これに対応する業務担当人員が不足することが懸念されている。

### 3. コンセッション推進に向けた取り組み(1)

---

- 国庫補助金を活用した調査の実施

平成27年度:三浦市公共下水道事業におけるコンセッション方式導入可能性調査

(国土交通省所管 先導的官民連携支援事業補助金)

平成28年度:三浦市公共下水道事業コンセッション推進に向けた情報整備調査

(国土交通省所管 先導的官民連携支援事業補助金)

平成28年度:資産(管路)の情報に関する基礎資料の精査に係る調査

※平成29年度への繰越事業として実施

(内閣府所管 民間資金等活用事業調査費補助金)

### 3. コンセッション推進に向けた取り組み(2)

---

- 民間資金等活用検討審議会の開催

第1回：平成29年2月17日(金)

議題(1) 会長、副会長の選出について

議題(2) 三浦市公共下水道事業における民間資金等活用検討審議会への諮問について

議題(3) 公共施設等運営権方式(コンセッション方式)の概要について

第2回：平成29年3月24日(金)

議題(1) VFM(Value For Money)について

議題(2) 実施方針素案について

### 3. コンセプション推進に向けた取り組み(3)

---

- 現在の検討状況

民間資金等活用検討審議会における意見を踏まえ、課題解決に向けて行うべき作業の整理及び事業開始時期の変更等を含めたスケジュールの見直し作業を行っている。

- 主な課題

- ① 汚水管路内の劣化状況等の調査
- ② 処理場、ポンプ場及び管きよの更新計画を踏まえたVFMの算出
- ③ 事業スキームの再構築
- ④ リスク分担の明確化 など